

六郷特別出張所管内	
人口	男 34,501人 (△209)
	女 33,048人 (△219)
	計 67,549人 (△428)
世帯数	35,528世帯 (+43)
令和4年3月1日現在 ()は前年同月比	

六郷わがまち

発行：地域力推進六郷地区委員会
 編集：「六郷わがまち」編集委員会
 事務局：大田区六郷特別出張所
 〒144-0055 大田区仲六郷二丁目44番11号
 電話 03(3732)4885
 FAX 03(3735)6249

六郷わがまち

検索

ごみ減量は家庭から ～環境にやさしい六郷を～

昭和35年頃から日本は、好景気による経済成長の時代を迎え、私達は、大量生産・大量消費の環境で暮らしてきました。その結果、家庭には多くの生活用品とまだまだ使える物が溢れ、今では不要ごみとなっているのではないのでしょうか。

通常、家庭からの廃棄物の多くは可燃ごみとして焼却され、最終的には埋立などで処分されています。こうした焼却時の排ガスなどに含まれる窒素酸化物やCO²など温室効果ガスの増加は、地球温暖化といった気候変動に影響を及ぼすため、世界的にも排出削減が求められているのがご存じだと思います。

ごみ問題の解消は安全で健康的な暮らしに繋がります。自治会・町会でもこれに呼応した活動を行っています。私達も積極的にごみの減量に努め、ごみを再生可能な資源として考えてみましょう。地球上の限られた資源を守ることに繋がります。

最近、よく聞く『SDGs (持続可能な開発目標) : 2015年の国連で決められた2030年までに達成すべき17の国際社会共通の目標』の中でも取り上げられ、推進されています。



しげんまもるくん

ごみ減量は「3R (スリーアール)」の実行から

今回の「六郷わがまち」では、家庭でできる「3R」①ごみを作らない工夫 (リデュース)、②一度使ったものを繰り返し使う (リユース)、③一度使われたものを原料にして、新しいものに再生する (リサイクル) について考えてみました。私達は、すでに江戸時代から3Rを実行していました。

(裏面、ミニコラム参照)

このうち、身近な場所、六郷特別出張所で回収している「使用済みインクカートリッジ」「小型家電」「古着」などの資源がどのような方法で、何に再生されるかを調べてみました。「特別出張所に持参する際のお願」も紹介しています。

使用済みインクカートリッジ



使用済みインクカートリッジは、家庭では可燃ごみとして出されています。大田区は、平成22年7月からプリンターメーカー4社が共同で運営する「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、再資源化を推進しています。この活動を通じて、地球環境保全と社会貢献の実現を目指しているとのこと。特別出張所にも回収箱を常設し、カートリッジ回収をしています。

回収箱は長野県諏訪郵便局に集められ、その後仕分け拠点(障がい者の一般就労と自立支援企業)に届けられます。

カートリッジはメーカー別、種類別など一個一個の確認仕分けを行い、各メーカーに戻されます。届いたカートリッジはそれぞれの処理方法で再生カートリッジや助燃剤として再利用の他、ボールペン、運搬用コンテナ、建材などのプラスチック製品にも再生されています。

また、貴金属回収など再資源化を行っているとのこと。

▼令和2年度の六郷特別出張所の回収量は、3箱22.3kg(大田区全体は97箱749kg)でした。



小型家電



大田区では平成25年以降、10品目の小型家電(携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機器、デジタルカメラ、USBメモリー、ポータブルカーナビ、ACアダプター、電子辞書、卓上計算機、ポータブルビデオカメラ)を「小型家電リサイクル法」に基づき、特別出張所や図書館など42か所の区施設に回収ボックスを常設し、回収しています。

また、収集・持ち込みされた粗大ごみ、不燃ごみからも小型家電や有価物のピックアップ回収を行っています。

日本国内の家庭に眠る資源は世界一ともいわれおり、携帯電話、デジタルカメラなどの小型家電には、鉄・アルミ・金・銀・銅やレアメタルなど、有用金属が多く含まれています。

希少金属は、国内でリサイクルされるようになりました。

回収された小型家電から、東京オリンピック・パラリンピックでの金・銀・銅メダルが5千個、作成されたとのこと。

▼令和2年度の六郷特別出張所の回収量は、169kg(大田区全体は4399kg)でした。



<出典>
 ・みんなでごみを減らそうよ2021 (令和3年4月大田区清掃事業課発行)
 ・大田区ホームページ

※しげんまもるくんは大田区の資源循環イメージキャラクター、リサちゃん、イクルくんは出典の冊子に登場するキャラクターです。



廃食用油



古着



廃食用油（以下「廃油」）をスプーン一杯捨てると、魚が住めるようになるには、風呂おけ十杯分の水が必要だと言われています。廃油を生活用水として流すと、河川の水質汚濁など自然環境に悪影響があります。

皆さんは、家庭で揚げ物をした後の使用済みの廃油の処理は、どうされていますか。

不要な新聞紙や布切れなどに染み込ませるか、凝固剤で固めたりして、「可燃ごみの日」に出すこともできますが、大田区では平成12年度から特別出張所に回収箱を設置しています。廃油から作られる石鹸は皆さんもご存じかと思えます。区で回収した廃油は、新聞紙の印刷用インクとして再生利用されているのですが、配合飼料、塗料やバイオ燃料などの原料としても有効利用できます。

廃油のリサイクルは、焼却するごみの減量にもつながります。

▼回収日：毎週水曜日の11時～15時（祝日及び年末年始は除く）

▼令和2年度の大田区全体回収量は10060kgでした。（特別出張所ごとは未集計）



古着の再利用は、家庭でも一番身近なリユース・リサイクル物品ではないでしょうか。お店には大量に安価な布地や衣類が回っています。昨今の私達は衣類等を簡単に買うことができ、使用されていない衣類をタンスの中に眠らせていませんか。そして「可燃ごみ」として出しているませんか。布は、植物や動物からの天然素材やナイロンなどの合成素材で作られています。特別出張所で回収された衣類、タオル、帽子、靴下（左右揃ったもの）、ハンカチなど小物物品は、回収業者を経由して、主に東南アジアやアフリカ諸国で日本人と体型が似ているということで、リユースされています。また、ウエス・軍手など雑布加工やフェルト、クッション材料など反毛材料として加工されて産業界で役立てられています。このように古着は様々な目的でリユース、リサイクルされていますが、『捨てればごみ、回収すれば資源』といった意識が定着して欲しいものです。

▼回収日：区報、HPや特別出張所でお知らせ（新型コロナウイルス感染症の状況により中止になることがあります。）

▼令和2年度の大田区全体回収量は46130kgでした。（六郷特別出張所は2年度未実施／3年4月11月3160kg）

特別出張所に持参する際のお願い

- インクカートリッジの箱や袋は入れないでね。
- 小型家電の個人情報情報は削除して、電池は入れないでね。
- 廃油は家庭で使った食用油のみで業務用は持ち込まないでね。
- 古着は汚れていない物、破れていない物を透明・半透明の袋に入れてね。



ミニコラム

今から400～150年前の江戸時代、当時は鎖国といって外国から資源を輸入することに制限がありました。そのため、資源はとても大切なものであり、生活のあらゆるものを修理したり、再利用したりして生活していました。江戸時代はリサイクルの時代といえます。



いかけ屋（リデュース）
穴の開いた使えなくなった鍋や釜は、いかけ屋に直してもらって使っていました。



古着屋（リユース）
当時の人が着ていた服の大部分は古着だったようです。また、小ざれ売りから古い布を買って、服の直しを自分でしていました。



古傘買い（リユース）
破れた傘を買って歩き、破れた紙ははがして肉の包み紙として使い、骨は直して再生品として使っていました。

※笹間良彦著画「絵で見て納得！時代劇のウソ・ホント」（発行：柏書房）
「復元 江戸生活図鑑」（発行：柏書房）
（発行：遊子館）

編集後記

新型コロナウイルスがまん延してから2年以上。コロナ禍のもと、家で過ごす時間が多くなり、衣食住や生活スタイルにも影響を及ぼしています。家庭から出されるごみを減らすには、「ごみも資源!」、「ごみは分別して!」という意識が大切ではないかと、話し合うことができました。そして先人達から受け継がれている「もったいない精神」と昨今話題の「断捨離（だんしゃり）精神」を持って、家庭内の品にも目を向けたいと思いました。

今回のテーマから、私達は改めて3Rの推進について再認識すると共に、不要な品が再生され、社会に役立つためリサイクル活動への関心が高まりました。

浅野（南三） 牧野（東一） 村野（東二） 及川（宮本） 大泉（西一） 五十嵐（高畑）

わがまち続報

六郷わがまち第84号、第85号合併号で給食の揚げパンについて掲載しましたが、大田区のYouTubeでも揚げパンの歴史、作り方、子ども達の給食風景等が紹介されています！（@志茂田小学校）

皆様楽しめる動画となっていますので是非、ご覧ください！

※動画の最後に特典が紹介されていますが、特典は令和4年3月末までとなります。



動画の視聴はこちらから⇒

出張所からのお知らせ

4月24日に開催を予定していた「第71回大田区子どもガーデンパーティーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら中止となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き感染対策の徹底をお願いします。